

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第174号

令和2年1月22日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：046-222-6370

## 子どもサイエンスフェスティバル 2019

「科学の祭典」の県内地域版である子どもサイエンスフェスティバルを、今年も県内4カ所で開催します。今年の特ラン・ポスター(右)は、神奈川県立神奈川工業高校デザイン科の「まなさん」がデザインしてくれました。

(12/21 横須賀、1/18 相模原、2/1 海老名、2/22 秦野)

### 第1回 子どもサイエンスフェスティバル 横須賀大会

12月21日(土) 横須賀市立青少年会館 来場者 313名

昨年度は横須賀市自然・人文博物館(協議会会員)の「みんなの理科フェスティバル」との同時開催で、663名もの来場者がありましたが、今年度は「みんなの理科フェスティバル」の翌週の単独開催になってしまったため、残念ながら来場者は半減してしまいました。しかし、多くのブースを回って午前から午後まで過ごす子どもたちが多く、十分に楽しんでもらえたようでした。

**子どもサイエンスフェスティバル**  
よこすか科学の祭典  
横須賀大会

参加無料・申込不要

日時 令和元年12月21日(土)  
10:00~15:00

会場 横須賀市立青少年会館

※ 急須急行線 横須賀駅英駅より徒歩10分  
※ 駐車場は数に限りがあります。  
徒歩または自転車、公共交通機関をご利用ください。

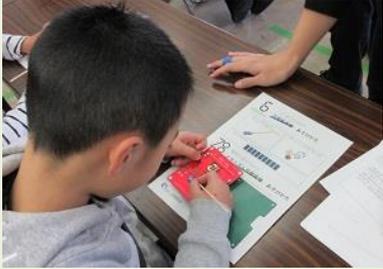
主催 子どもサイエンスフェスティバル実行委員会  
神奈川県立青少年センター

共催 神奈川県立青少年科学体験活動推進協議会  
協賛 横須賀市教育委員会/三浦市教育委員会  
協賛先 子どもサイエンスフェスティバル実行委員会  
TEL: 046-222-6370, 6371

ポスターデザイン: 神奈川県立神奈川工業高等学校 デザイン科 実生

子どもサイエンスフェスティバルは 公益財団法人東京理化学技術振興財団の協力を得て実施しています。

<p>横須賀市立青少年会館</p>  <p>開場と同時に目当てのブースに向かう来場者</p> 	<p>①紅葉ヶ丘無線クラブ 電気・磁石の不思議をさぐる (電磁石を作ってみよう)</p>  <p>鉄の棒に電線を巻いて作った電気石で遊びながら、電気や磁石について学びました。</p>	<p>②認定NPO法人 おもしろ科学探検工房 おもしろ科学ひろば</p>  <p>ビー玉ジェットコースターの体験と、キラキラリングがくるくるまわる工作をしました。</p>
<p>③WDB 株式会社 エウレカ社 研究者と一緒にスライムを作ろう!</p>  <p>洗濯のりとホウ砂を混ぜて、自分の好きな色のスライムを作って楽しみながら、化学反応を観察しました。</p>	<p>④三浦学苑高等学校 科学部 フラーレンボールをつくろう</p>  <p>PPバンドを使って、フラーレンの模型を作りました。炭素の同素体の説明と展示もありました。</p>	<p>⑤(公社)日本技術士会 神奈川県支部 オーバルビリヤード</p>  <p>楕円型のビリヤード台にミニビリヤード球を転がし、どのように動くかを観察して楕円の不思議を体感しました。</p>

<p>⑥ (公社) 日本技術士会 神奈川県支部</p> <p>磁石を使った工作「くるくる人形」</p>  <p>磁石の反発を利用したくるくるまわる人形を作りました。磁石の性質を体験できるコーナーもありました。</p>	<p>⑦ (公社) 日本技術士会 神奈川県支部</p> <p>反発力と摩擦力を使った動くおもちゃ工作</p>  <p>スーパーボールの反発力や、ストローの摩擦力を利用したおもちゃを作りました。</p>	<p>⑧ (公社) 日本技術士会 神奈川県支部</p> <p>玩具をつかって、発明の考え方を学ぼうトリーズ (TRIZ) -</p>  <p>発光ダイオード、非接触スイッチを使った玩具を用いて、発明の考え方を学びました。</p>
<p>⑨ 自然科学に親しむ会</p> <p>虹のこま</p>  <p>こまを色々な色で塗り分けて、きれいな虹が見えるように工夫をしました。</p>	<p>⑩ 三菱みなとみらい技術館</p> <p>ロケットのしくみをしらべよう</p>  <p>ロケットの仕組みを学んでから、ストローとスーパーボールを使って簡単な工作をしました。</p>	<p>⑪ SFCD</p> <p>宇宙 (そら) までとどけ! みんなのかみコップロケット!</p>  <p>膨らませたビニール袋をたたいて飛ばすロケットを作りました。飛ばすにもコツがいます。</p>

## 冬のものづくり体験教室② ～ビー玉ジェットコースターをつくろう～

冬休み最後の土曜日に、ものづくり体験教室「ビー玉ジェットコースターをつくろう」を開催しました。

工作用紙だけをはさみ・セロハンテープ・両面テープで組み立てて、支柱や直線や曲線のスロープを作って、ビー玉を滑降させるジェットコースターをつくりました。小学校の低学年ではかなり難しいのではと心配していましたが、参加者みんなが集中して頑張り、2時間程で全員完成しました。子どもたちが頑張ったのはもちろんですが、高校生ボランティアが本当によく子ども達のお手伝いをしていたのも、全員が完成できた要因でした。小学生もお兄さんやお姉さんに手伝ってもらえるのが嬉しいみたいです。

<div style="background-color: #4caf50; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">支柱を組み立て骨格作り</div> <p>柱は工作用紙の直方体を組み合わせて作ります</p> 	<div style="background-color: #4caf50; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">高校生が大活躍</div> <p>小学校低学年の子ども達には高校生ボランティアがお手伝い</p> 	<div style="background-color: #4caf50; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">完成形</div> <p>「電車で持ち帰るには大きいからバラしてあげる」と言っても、完成までに苦労したから「大丈夫このまま持って帰る!」という子ども達ばかりでした</p> 
---	---	--

**事務局から** 大人はついつい手を出し過ぎてしまうこともありますが、高校生ボランティアは「子ども達が困っていたら手伝う」という姿勢でいつも取り組んでいます。だからこそ、子ども達も「自分でできた!」「自分で作れた!」と達成感を持てるのでしょう。(事務局: 千葉、伴、熊切、山田)

